



2023年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月10日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL <https://www.morphoinc.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 内田 明美 TEL 03(6822)2629
 四半期報告書提出予定日 2023年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第1四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第1四半期	448	17.4	△203	—	△224	—	△243	—
2022年10月期第1四半期	382	13.9	△217	—	△211	—	△220	—

(注) 包括利益 2023年10月期第1四半期 △282百万円 (—%) 2022年10月期第1四半期 △187百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第1四半期	△47.55	—
2022年10月期第1四半期	△42.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第1四半期	3,618	3,117	86.2	607.81
2022年10月期	3,860	3,399	88.1	662.79

(参考) 自己資本 2023年10月期第1四半期 3,117百万円 2022年10月期 3,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	—	—	—	—
2023年10月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	20.2	△250	—	△250	—	△329	—	△61.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期1Q	5,414,000株	2022年10月期	5,414,000株
② 期末自己株式数	2023年10月期1Q	284,964株	2022年10月期	284,964株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期1Q	5,129,036株	2022年10月期1Q	5,171,628株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が徐々に緩和され、持ち直しの傾向がみられるものの、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や世界的な金融引き締めに伴う景気の下振れリスクの顕在化により、先行きが不透明な状況が続いております。一方で、IT業界においては、生産性向上や社会のデジタル化への対応等を目的として、AIやIoT、5G（第5世代移動通信システム）といったデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）の企業ニーズの高まりを受け、関連市場は良好な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、2022年10月期から始まる、新たな中期経営計画「Vision2024」を策定し、「Rise above what we see, to realize what we feel -人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-」をビジョンに掲げ、テクノロジーによるイノベーションを通じて顧客価値の最大化を目指しております。また、先進のテクノロジーにより、利便性や安心安全、生産性の向上を実現することで社会問題解決への貢献に取り組んでまいります。

当社グループでは、スマートデバイス、車載/モビリティ、DXの事業領域を戦略領域と定め、これら戦略領域においてイメージングテクノロジーを軸にした付加価値の高いソリューションを開発することで、顧客企業の課題解決を図ってまいります。戦略領域において、パートナー企業や顧客企業との連携を推進し、当該領域におけるドメインナレッジを蓄積して、継続性と収益性の高いストック型のビジネスモデルにより事業拡大を目指しております。

スマートデバイス領域においては、エッジデバイス向けにAIを活用したノイズ除去技術の研究開発を推進し、顧客企業に採用いただきました。今後、車載機器や監視カメラ等での活用を視野に入れております。車載/モビリティ領域においては、車載機器向けの開発プロジェクトが進捗しております。また、将来の事業成長を見据えた新規開発プロジェクトの営業活動にも注力いたしました。DX領域においては、国立国会図書館のOCR処理プログラムを活用した市販ソフトウェア「FROG AI-OCR」が滋賀県立図書館と順天堂大学で採用されました。近現代の書籍・雑誌のテキスト化ニーズを持つ自治体や地方図書館、大学等への横展開を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は448,815千円（前年同四半期比17.4%増）、営業損失は203,269千円（前年同四半期は営業損失217,483千円）、経常損失は224,436千円（前年同四半期は経常損失211,877千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は243,864千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失220,289千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,371,250千円となり前連結会計年度末に比べ221,580千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が121,266千円、受取手形、売掛金及び契約資産が181,297千円減少したことによるものであります。固定資産は247,100千円となり、前連結会計年度末に比べ20,199千円減少いたしました。これは主に投資有価証券が19,831千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,618,350千円となり、前連結会計年度末に比べ241,779千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は496,962千円となり前連結会計年度末に比べ44,350千円増加いたしました。これは主に契約負債が95,893千円増加したことによるものであります。固定負債は3,906千円となり、前連結会計年度末に比べ4,113千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が5,197千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、500,869千円となり、前連結会計年度末に比べ40,237千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,117,480千円となり前連結会計年度末に比べ282,017千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が243,864千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年12月9日に「2022年10月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,059,977	2,938,710
受取手形、売掛金及び契約資産	491,149	309,851
仕掛品	10,115	36,869
前払費用	17,939	60,917
その他	19,693	28,355
貸倒引当金	△6,045	△3,455
流動資産合計	3,592,830	3,371,250
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	288	178
車両運搬具(純額)	3,202	2,684
工具、器具及び備品(純額)	11,122	18,573
リース資産(純額)	10,915	6,894
有形固定資産合計	25,529	28,331
投資その他の資産		
投資有価証券	192,749	172,918
繰延税金資産	4,626	2,364
破産更生債権等	67,911	67,911
その他	26,044	25,135
貸倒引当金	△49,560	△49,560
投資その他の資産合計	241,770	218,769
固定資産合計	267,300	247,100
資産合計	3,860,130	3,618,350

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,947	122,945
未払金	80,540	75,883
未払法人税等	21,836	8,776
未払費用	24,236	16,798
契約負債	154,144	250,037
預り金	16,241	13,133
その他	28,663	9,386
流動負債合計	452,612	496,962
固定負債		
繰延税金負債	5,197	—
資産除去債務	2,248	2,251
その他	573	1,655
固定負債合計	8,020	3,906
負債合計	460,632	500,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,783,958	1,783,958
資本剰余金	1,732,628	1,732,628
利益剰余金	189,395	△54,468
自己株式	△370,999	△370,999
株主資本合計	3,334,983	3,091,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,777	△1,325
為替換算調整勘定	52,737	27,687
その他の包括利益累計額合計	64,515	26,362
純資産合計	3,399,498	3,117,480
負債純資産合計	3,860,130	3,618,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
売上高	382,435	448,815
売上原価	191,355	288,111
売上総利益	191,079	160,704
販売費及び一般管理費	408,562	363,974
営業損失(△)	△217,483	△203,269
営業外収益		
受取利息	129	103
持分法による投資利益	312	—
為替差益	842	—
源泉所得税還付金	4,991	510
その他	1,779	206
営業外収益合計	8,055	821
営業外費用		
支払利息	658	101
為替差損	—	20,008
持分法による投資損失	—	1,531
支払手数料	1,365	—
その他	424	346
営業外費用合計	2,449	21,987
経常損失(△)	△211,877	△224,436
特別損失		
減損損失	—	7,163
特別損失合計	—	7,163
税金等調整前四半期純損失(△)	△211,877	△231,600
法人税、住民税及び事業税	8,411	10,002
法人税等調整額	—	2,261
法人税等合計	8,411	12,264
四半期純損失(△)	△220,289	△243,864
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220,289	△243,864

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)
四半期純損失(△)	△220,289	△243,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,324	△13,102
為替換算調整勘定	4,503	△25,050
その他の包括利益合計	32,827	△38,152
四半期包括利益	△187,461	△282,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△187,461	△282,017

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年1月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。